

別表 一時預かり事業の研修科目

	科 目	時間数
スキルアップ研修	子どもの発達と子どものかかわり	4 時間
	一時的な保育における子どもの遊びとその援助	2 時間
	一時的な保育における生活援助の内容と方法	2 時間
	一時的な保育における保護者支援の内容と方法	4 時間
基礎研修	事故発生後の対応と危機管理	2 時間
	一時的な保育の事故防止と健康管理	2 時間
	一時的な保育における子どものかかわりと遊び	2 時間
	一時的な保育における保護者支援の内容と方法	2 時間
	一時的な保育の実習	5 時間
	一時預かり事業の意義と基本姿勢	2 時間
	合計	27 時間

【研修の留意事項】

- 研修受講対象は、保育従事者に加え事務・受付・運営等一時預かり事業にかかわるすべての従事者とする。
- 基礎研修は、保育士資格の有無に関わらず受講することが望ましい。
- 研修担当者は、研修講師に対して研修内容（研修終了後に獲得する知識・技術・態度）を事前に提示し、研修講師は研修修了後に獲得する知識・技術・態度を踏まえ、その目標に添った研修を行うように努める。
- 研修内容は一時的な保育を行う上で不可欠な知識や技術を優先する。たとえば「子どもの遊びとかかわり」では手遊びやおもちゃ製作よりも不安で泣く子どもを安心させるかかわりを優先する。
- 実習は、継続的な保育の場ではなく一時的な保育を行っている場で行う。
- 研修は、講義、演習、実習を組み合わせ実践に結びつく効果的な方法で行う。
- スキルアップ研修は継続的に行うことが効果的であり、団体・地域の課題に合わせて柔軟に行うこと

(1) 基礎研修後に受講者が獲得する知識・技術・態度

一時預かり事業の意義と基本姿勢	一時的な保育の実習
<p>保育者としての倫理（個人の尊重、個人情報保護、守秘義務）を守る</p> <p>子どもの人権を尊重する</p> <p>自己研鑽の必要性を知り自己研鑽を行なう</p> <p>子育て支援が求められる背景を知る</p> <p>子育て支援の利用に肯定的なまなざしをもつ</p> <p>一時預かり事業の概要を知る</p> <p>一時預かり事業の意義（保護者・子ども・親子関係支援）を知る</p> <p>記録を理解し活用する</p> <p>スタッフ間の連携を知る</p>	<p>倫理を守る姿勢を知る</p> <p>一時的な保育の準備、預かる場面からお迎えまでと、その後のスタッフ間の話し合い等、一連の流れを知る</p> <p>スタッフ間の連携を知る</p> <p>子どもとのかかわりと遊びを知る</p> <p>事故防止と健康管理の行動を知る</p> <p>保護者へのかかわりの実際を知る</p> <p>記録・報告書の実際にふれ、記述の仕方を理解する</p>
<p>一時的な保育における保護者支援の内容と方法</p> <p>一時的な保育における保護者とのかかわりの特徴を知る</p> <p>保護者へのかかわりにおけるマナーと心得を知る</p> <p>問合せ・申込・受付・帰宅時の対応の心得を知る</p> <p>保護者への報告書の書き方を知る</p> <p>保育中のトラブル等の報告の仕方を知る</p>	<p>一時的な保育における子どもとのかかわりと遊び</p> <p>子どもとの信頼関係を形成する具体的なかかわりを知る</p> <p>不安を安心に変える具体的なかかわり方を知る</p> <p>一時的な保育の子ども遊びの援助を知る</p> <p>乳幼児に行いがちな人権侵害行為について具体的に知り人権侵害を行わない</p>
<p>一時的な保育の事故防止と健康管理</p> <p>一時的な保育の特徴と起きやすい病気について知る</p> <p>一時的な保育で起きやすい事故（屋内・屋外）を知る</p> <p>子どもの事故の特徴を知る</p> <p>発達段階による危険な行動を知る</p> <p>安全を守るうえで保育中に気をつけることを知り行動する</p> <p>声かけによる安全の確認と情報の共有化の重要性を知り行動する</p> <p>感染症の予防について知る</p> <p>健康管理と異常の早期発見を行なう</p> <p>危機管理（災害・不審者など）の基本を知る</p>	<p>事故発生後の対応と危機管理</p> <p>事故が発生した場合の初期対応について知る</p> <p>簡単な応急処置を行なう</p> <p>報告について知る</p> <p>危機管理（災害・不審者など）の基本を知る</p> <p>救急法を行なう</p>

(2) スキルアップ研修後に受講者が獲得する知識・技術・態度

一時的な保育における保護者支援の内容と方法	一時的な保育における生活援助の内容と方法
<p>一時的な保育における保護者とのかかわりの特徴を知る</p> <p>一時的な保育の保護者における意味を知る</p> <p>対人援助における基本マナーを知り守る</p> <p>保護者へのかかわりにおける心得を知る</p> <p>保護者へのかかわりにおける具体的な方法を知る</p> <p>問い合わせ、申込み対応業務の心得を知る</p> <p>受付時の業務と対応の心得を知る</p> <p>帰宅時の業務と対応の心得を知る</p> <p>保護者への報告書の書き方を知る</p> <p>保育中のトラブル等の報告の仕方を知る</p> <p>事故、クレーム、難しい保護者等の対応を知る</p> <p>援助を必要とする保護者に対する援助を知る</p>	<p>効果的な生活援助の具体的な方法を知る</p> <p>一時的な保育の生活援助は家庭のやり方に沿うことを知る</p> <p>一時的な保育で不安を感じる子どもへの生活援助の方法を知る</p> <p>家庭の生活援助把握の方法と内容を知る</p> <p>時代によるしつけ方法の変化を知る</p> <p>一時的な保育における食事の援助を行なう</p> <p>一時的な保育における授乳を行なう</p> <p>一時的な保育における睡眠と入眠ケアを行なう</p> <p>一時的な保育における衣服の調節と着脱援助を行なう</p> <p>抱っこの仕方、スリング等の使用方法を知り安全に使用する</p> <p>一時的な保育のデイリープログラムを知る</p>
一時的な保育における子どもの遊びとその援助	子どもの発達と子どもとのかかわり
<p>乳幼児にとっての遊びの概要と意義を知る</p> <p>子どもの個性・発達段階・興味にあわせた遊びが重要であることを知る</p> <p>子どもを理解するためには、子どもの観察が重要であることを知る</p> <p>一時的な保育の遊びの特徴を知る</p> <p>一時的な保育の場の設定の仕方を知る</p> <p>一時的な保育のおもちゃと絵本の選び方を知る</p> <p>年齢差が大きい一時的な保育の遊びを知る</p> <p>一時的な保育の子ども遊びの援助を知る</p>	<p>子どもの発達と環境の影響を知る</p> <p>0歳の特徴と大人が誤解しやすい行動を知る</p> <p>1歳の特徴と大人が誤解しやすい行動を知る</p> <p>2歳の特徴と大人が誤解しやすい行動を知る</p> <p>3～5歳の特徴と大人が誤解しやすい行動を知る</p> <p>学童期の特徴を知る</p> <p>大人が困る行動への具体的なかかわり方（反抗、けんか、乱暴など）を知る</p>

Ⅱ. 研究成果の刊行に関する一覧表

雑誌

著作氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
柏女霊峰、 尾木まり他	子ども家庭福祉行政機 関の機構改革と運営に 関する研究（2）－保 育・子育て支援、児童健 全育成分野を中心に－	日本子ども家庭総合 研究所紀要（平成 19 年度）	第 44 集	p. 37～64	2008
尾木まり	多様な保育サービスに おける保護者支援と保 育指導	保育指導技術の体系 化に関する研究（主 任研究者 柏女霊 峰）平成 20 年度児 童関連サービス調査 研究等事業報告書		p. 97	2009